

2019年7月22日

各位

株式会社フジトランス コーポレーション

## 北海道の社有林で新入社員が植樹活動

株式会社フジトランス コーポレーション（本社：名古屋市港区、代表取締役社長：系井辰夫）は7月18日（木）、新入社員研修の一環として北海道にある社有林「フジツの森」で、ハルニレの苗木70本を植樹しました。

当社は、山林を豊かにすることで山を水源とする河川、その流域の土壌、さらに当社の事業フィールドである海を育むことにつながるという考えのもと、2011年に森林を所有し、「フジツの森」と名付けました。「植える→育てる→伐る→使う」というサイクルを持続的に行い、森林を健全に保つため、毎年、新入社員研修の場として植樹を続けています。現地の植生に合った樹種から、年ごとに異なる種類の木を植えることで、生物多様性の保存に配慮しています。

新入社員が植樹体験を通して自然環境の大切さを学ぶ機会とし、当社の環境保全活動・社会貢献活動を理解してもらうことを期待しています。



### <フジツの森 概要>

所在地	北海道岩内郡共和町
面積	1,774,860 m <sup>2</sup> (ナゴヤドーム約36個分)
状況	山林
登録日	2011年3月